

刊行物名	課(室・所・館)	発行回数	規格	ページ数	発行部数
県北の教育	県北教育事務所	2	B 5	4	3,900
県中教育	県中教育事務所	2	B 5	4	4,500
広報「県南」	県南教育事務所	2	B 5	4	1,600
広報誌「あいつね」	会津教育事務所	3	B 5	6	3,000
教育広報「南会」	南会津教育事務所	2	B 5	4	750
広報誌「相双」	相双教育事務所	2	B 5	6	2,050
教育広報「いわき」	いわき教育事務所	3	B 5	4	3,000

7 教育長記者会見

教育に対する県民の関心の高まりに伴い、教育行政施策の普及推進のため、教育長と県政記者との会見を行った。

会場 第一会議室、県政記者クラブ室、教育委員室
 内容 県民に広報を必要とする重要な施策及び行事等で、平成元年度に取り上げた主なものは次のとおりである。

- 9月14日(金) 平成元年度福島県文化功労賞受賞者・教育文化関係功労者の決定について
 10月30日(月) 平成2年度福島県公立高等学校、盲学校・聾学校・養護学校高等部生徒募集定員について
 2年
 3月24日(土) 平成元年度末福島県公立学校教職員・教育庁職員人事異動について

8 県政広報との連携並びに記者発表及び資料提供

広報を必要とする教育関係の情報・資料の提供について、広報広聴課の県政番組(印刷媒体・電波媒体)の随時活用を図った。更に、各報道機関(16社)に関しては、庁内各課の広報を要する事項について、県政記者クラブ、社会記者クラブに対する記者発表及び資料提供を随時行い、教育行政についての県民の理解と協力を得ることに努めた。月別の件数は次のとおりである。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	2	1	4	2	1	2	3	2	2	4	6	8	37
記者クラブ資料提供	13	16	22	36	32	23	25	20	20	21	11	20	259

9 地区別教育広聴会

教育行政に対する広聴活動として昭和47年度から地区別教育広聴会を実施してきたが、平成元年度は次の2地区で開催した。

- 第1回 県中地区 8月25日(金) 郡山市
 第2回 いわき地区 10月25日(水) いわき市

(1) 目的

県内各地の教職員、教育関係者及び地域住民等から、福島県の教育がかかえる諸課題等について意見を聴取し、本県教育行政の参考に資するとともに、より良い教育行政の発展に反映させる。

(2) テーマ

県中地区、いわき地区共通

「子どもたち一人一人の個性に応じた教育の充実と、学力向上のために」

(3) 意見発表者

① 県中地区(9名)

公立学校教員(4名)、父母の代表(1名)、スポーツ・文化活動・社会教育関係者(2名)、地域産業・経済界の代表(1名)、その他(1名)
 なお、13名の一般傍聴者が出席した。

② いわき地区(10名)

公立学校教員(2名)、父母の代表(2名)、スポーツ・文化活動・社会教育関係者(2名)、地域産業・経済界の代表(2名)、その他(2名)
 なお、40名の一般傍聴者が出席した。

(4) 県教育委員会及び教育庁からの出席者

教育委員、教育長、教育次長、関係課長(総務・義務教育・高等学校教育・養護学校・社会教育・保健体育)、開催地区事務所長・次長、総務課主幹及び広報係員

(5) 教育広聴会の記録

各回の内容を「教育福島」誌の9月号、11・12月号に速報的に掲載し、教育行政の推進に役立たせた。

10 平成元年度北海道・東北ブロック文部省指示説明会(調査関係)及び調査統計・企画・広報担当者協議会

- (1) 主催 文部省、宮城県教育委員会
 (2) 期日 4月19日(水)～20日(木)
 (3) 場所 仙台市「ホテル白萩」

11 平成元年度教育関係情報交流研究協議会北海道・東北地区研究協議会

- (1) 主催 文部省、宮城県教育委員会
 (2) 期日 9月7日(木)～8日(金)
 (3) 場所 仙台市「ホテル白萩」

第6節 調査統計

平成元年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

1 学校統計要覧の刊行

平成元年5月1日現在で調査した「学校基本調査」(指定